

▼ 活動目的 「みんなのことにみんなが協力する社会の実現」

▽ 0. 「問題解決のフレームワーク」

活動の際に使用する「問題解決」という単語は「図1.」の「問題解決のフレームワーク」を表現しています。

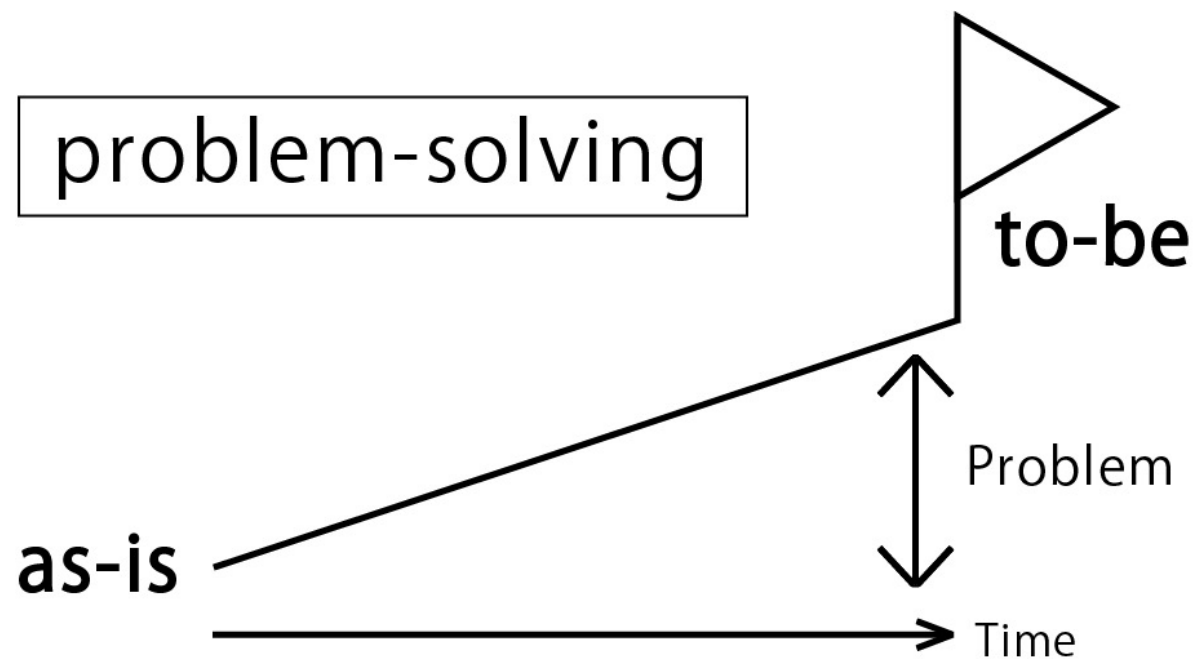


図1. 問題解決のフレームワーク

▽ 1. 「管理」

「管理」の方法には大きく分けて「支配 / 操作 / 評価」があります。

「支配」の主な手段は以下の通りです。

力...資源 / 資質  
規則...慣習 / 法律 / 規範  
構造...血縁 / 体制 / 国家 など

「操作」の主な手段は以下の通りです。

報酬...金銭 / 承認 / 褒める  
制裁...疎外 / 暴力 / 叱る など

「評価」自体に問題はないのですが、「支配 / 操作」の手段となる場合は、「理想の状態を定義」する機会を奪ってしまうことにつながるため注意が必要です。

▽ 2. 組織で取り組む「問題解決」 = 事業

**NPO法人Cafe de 寺子屋は「こころの貧しさ」を解決し「みんなのことにみんなが協力する社会の実現」を目指しています。**

人びとは「管理」の中で活動する過程で、「問題解決」の主語が「他者」となり「無関心 / 無気力 / 無責任」を「学ぶ」と考えています。また、「私 / 私たち」を主語に「問題解決」に取り組む環境を提供することで、「自律 / 協調」を「学ぶ」ことができると考えています。

そのため、私たちは事業を通じて、「管理」をできる限り減らし、「自学自習」という「問題解決」に取り組む機会を社会に提供しています。

・ 問題解決 (problem-solving)

- ① 理想の状態 (to-be) を定義
- ② 現在の状態 (as-is) を分析
- ③ 問題 (problem) を特定
- ④ 解決策 (solution) を探索
- ⑤ 解決策 (solution) を実行

・ 管理

自己の問題解決のために、他者の問題解決に干渉すること

・ 支配

差異と価値を結びつけて上下関係をつくり、他者に圧力を与えること

・ 操作

他者を動機づけて、判断を自身に都合のよい方向に誘導すること

・ 評価

同じ部分・似ている部分・異なる部分を見つけ、優劣をつけること

・ 学び (learning)

ヒト・モノ・コトの相互作用の中で活動する過程で、世界に対する解釈・理解が変化すること

・ 「こころの貧しさ」

社会課題に大きく関わる人びとの問題解決の仕方

・ 「みんなのことにみんなが協力する社会」

問題解決の主語が「私たち」となっている状態

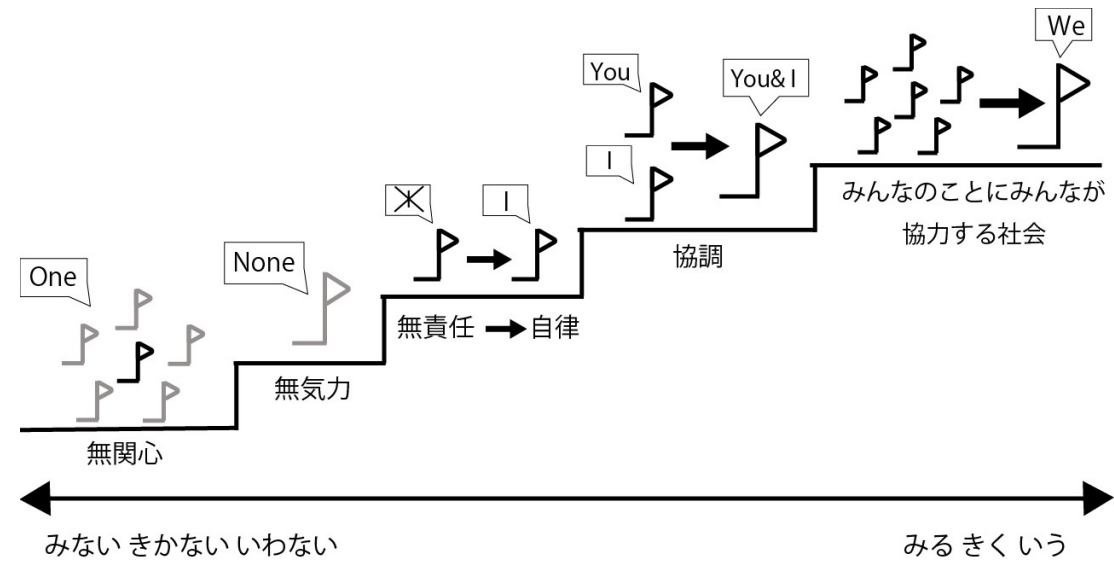


図2, 組織で取り組む「問題解決」= 事業

▽ 3. 組織で取り組む「問題解決」における解決策 = 「寺子屋」をつくり、広める

「図3.」は「寺子屋」のイメージです。  
 「寺子屋」のコンセプトは「地域でいちばん心地よく、自学自習ができる場所」であり、主体的・対話的で深い「学びの場」です。

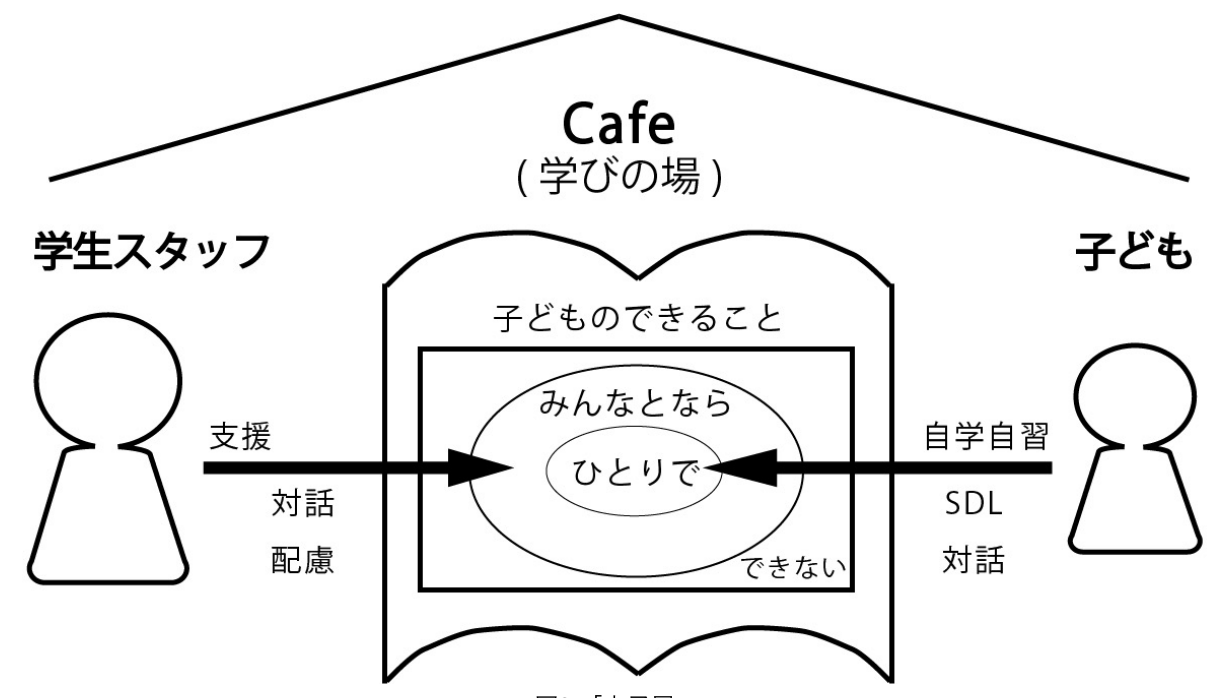


図3. 「寺子屋」

前提として、スタッフと子どもは対等な「ひとりの人間」です。

子どもは、問題解決として自学自習 (SDL + 対話) に取り組み、スタッフはその支援 (対話 + 配慮) を行います。

子どもは基本的に "ひとりでできること" をひとりで取り組みます。  
 また、スタッフは、子どもが "ひとりでできること" を奪ってしまわないように、"みんなとならできること" に限定して関わります。

その際に、"みんなとならできること" が、後々 "ひとりでできること" になるような関わり方をします。  
 また、いまは "できないこと" でも、後々 "みんなとならできること" になるような関わり方を目指します。

- ・ 協調 (polyphony)  
問題解決の主語が「私とあなた」となっている状態
- ・ 自律 (autonomy)  
問題解決の主語が「私」となっている状態
- ・ 無責任 (irresponsibility)  
問題解決の主語が「私」となっていない状態
- ・ 無気力 (helplessness)  
問題解決の主語がなくなっている状態
- ・ 無関心 (indifference)  
問題解決の主語が合一されている状態
- ・ 「みる・いう・きく」  
こころがひらいている状態 (open)
- ・ 「みない・いわない・きかない」  
こころがとじている状態 (closed)
- ・ 学びの場 (field of learning)  
連続的・連鎖的に「学び」の起こる空間
- ・ 支援 (assist)  
配慮 (coordinate) + 対話 (dialogue)
- ・ 自学自習 (self-learning)  
自主学习 (SDL) + 対話 (dialogue)
- ・ 自主学习 (Self-Directed Learning = SDL)  
学習者が自ら目的を認識し、計画・意思決定・コントロールに取り組む学習形態
- ・ 対話 (dialogue)  
お互いの見ている世界についての解釈・理解を重ね合わせ、物語 (narrative) を紡ぐこと
- ・ 配慮 (coordinate)  
"ひとりでできること" をひとりでできるように環境を調整すること
- ・ "ひとりでできること" (without assistance)  
問題解決を「私」を主語に実行できていること
- ・ "みんなとならできること" (with assistance)  
問題解決プロセスの一部を他者の支援をうけながら実行できていること

・"できないこと"

問題解決を開始できないこと